

令和元年度 舞鶴地域医療推進協議会 事業報告（案）

（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

舞鶴地域医療推進協議会（以下、「協議会」という。）は、中丹地域医療再生計画に位置付けられている舞鶴地域医療連携機構の役割（機能）を継承する組織として、舞鶴市における地域医療の確保・充実を目的に、病院間等の連携体制の強化に寄与する取り組みを基本的事業として実施する。

令和元年度においては、病院間・病診間の「連携強化」、「救急医療体制の確保」及び地域医療の課題等に関する「啓発・情報発信」を重点に、事業に取り組んだ。

I 事業執行状況

◎舞鶴地域医療推進協議会 総会

開催日	令和元年 6 月 24 日（月）
協議内容	平成 30 年度事業報告・決算について 令和元年度事業計画（案）・予算（案）について 協議会運営要綱の改正について

1. 連携強化

(1) 公的 4 病院長・医師会長会議の開催

	開催日	出席者	主な協議内容
第 1 回	R1. 8. 5（月）	公的 4 病院長、 事務部長、 医師会長、市	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度下半期における休日救急輪番体制について <ul style="list-style-type: none"> ・輪番体制及び小児科バックアップ体制を承認 ◆舞鶴市休日急病診療所の患者数について報告 ◆救急医療部会（7 月 22 日開催）の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴共済病院から提案のあったクラウド型救急医療連携システムについて意見交換 ・舞鶴赤十字病院から提案のあったクラウドを利用した画像共有システムについて意見交換 ◆休日救急輪番制の委託料の増額要望について市が説明 ◆医療的ケア児の人数把握のための調査協力依頼。了承
第 2 回	R2. 2. 17（月）		<ul style="list-style-type: none"> ◆令和 2 年度上半期における休日救急輪番体制について <ul style="list-style-type: none"> ・輪番体制及び小児科バックアップ体制を承認 ◆舞鶴市休日急病診療所の患者数について報告 ◆令和 2 年度舞鶴市（健康・子ども部）予算の概要について市が説明 ◆＃7119 の導入について報告 ◆新型コロナウイルス感染症感染疑い患者の対応について意見交換

2. 救急医療体制の確保

(1) 救急医療部会の開催

	開催日	出席者	主な協議内容
第1回	R1.7.22 (月)	医師会地域医療担当医師、各病院救急担当医師、市消防本部救急担当、市	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度下半期における休日救急輪番体制について <ul style="list-style-type: none"> ・救急輪番体制について確認 ◆舞鶴市休日急病診療所の患者数について報告 ◆搬送時医療機関問い合わせ状況について報告 ◆舞鶴共済病院から、救急隊と共済病院間の心電図データ電送システムの導入検討について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・2病院（舞鶴医療センター、舞鶴赤十字病院）内での協議結果を踏まえ、スタート時期等について消防を交えて協議。次年度からの費用負担の在り方については別途協議 ◆舞鶴赤十字病院より、クラウドを利用した画像共有システムの導入検討について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・公的病院及び市に対する業者によるデモを実施
第2回	R2.1.27 (月)		<ul style="list-style-type: none"> ◆令和2年度上半期における休日救急輪番体制について <ul style="list-style-type: none"> ・救急輪番体制について確認 ・大型連休中の体制について調整 ◆2019年救急概況について報告 <ul style="list-style-type: none"> ・10月から稼働した救急車からの心電図データ電送システムは、スムーズな搬送に繋がっているとの報告あり。 ◆休日急病診療所の患者数について報告 ◆画像共有システムについて意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・3病院でのデモが終了 ・コスト、セキュリティ、責任の所在等について意見あり ・各病院に意見を持ち帰り継続協議 ◆新型コロナウイルス感染症への対応について確認
	R1.9.30 (月)	各病院救急担当医師、市消防本部救急担当、市	<ul style="list-style-type: none"> ◆画像共有アプリの導入について <ul style="list-style-type: none"> ・責任の所在や費用負担の事等の課題ありとの意見。業者による医療センター、共済病院へのデモを実施し、協議を継続 ◆心疾患患者の救急搬送体制について <ul style="list-style-type: none"> ・心電図データ電送システムについて導入に賛同（舞鶴医療センター、舞鶴赤十字病院） ◆診療科別救急搬送受入体制について <ul style="list-style-type: none"> ・各病院に意見を持ち帰り協議

(2) 公的3病院による休日救急輪番の実施

平成31年4月1日～令和2年3月31日

- 【実績】
- ◆診療科：内科、外科、小児科
 - ◆実施日数：76日（1日平均：72.2人）
 - ◆患者数：5,493人

(3) 休日急病診療所（内科：一次救急）

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

【実績】 ◆休日急病診療所の診療日数：52 日

◆休日急病診療所の受診患者数：657 人（1 日平均：12.6 人）

1 日最高患者数：48 人（1 月 5 日）

◆輪番病院との連携

輪番病院への転送患者数：25 人

3. 地域医療に係る啓発・情報発信

お医者さんマップ、子どもの急病への対処法パンフレットの作成・配布、訪問歯科診療の案内チラシ、#8000 啓発用カード、休日急病診療所の案内カードの配布を行ったほか、引き続き協議会ホームページを通じて、地域の医療課題に関する啓発を行った。

【参考】

- ・医療現場体験イベント「ミッション・イン・ホスピタル3」を開催

⇒医療に興味のある中学生・高校生が、高度医療機器の操作や各職種の医療現場を体験。命の尊さを学ぶとともに、将来、地域で医療従事者として活躍する人材の育成を目的に実施。

開催日：令和元年 8 月 4 日（日）

場 所：舞鶴赤十字病院

参加者：121 名（中学生 67 名、高校生 54 名）

《アンケートから》

○自分の進路や将来の職業について考えるきっかけとなったか？

⇒ 「はい」と回答した人は、98.3%であった。

○将来、医療職を目指そうと思うか？

⇒ 「はい」と回答した人は、81.5%であった。

○今後も医療体験イベントに参加したいか？

⇒ 「はい」と回答した人は、96.2%であった。

- ・公的病院間循環バス利用運賃助成

⇒病院間循環バスの運行に伴い、同一日にバスを利用して公的病院間を移動、受診する患者に対し運賃を助成。

利用実績 2 件 （ 舞鶴医療センター ⇒ 舞鶴赤十字病院 2 件）

令和元年度 舞鶴地域医療推進協議会収支決算書(案)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 補助金	2,061,000	1,179,492	△ 881,508	○舞鶴市補助金
合計	2,061,000	1,179,492	△ 881,508	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
1. 連携強化事業費	10,000	10,420	420	○公的4病院長会議・部会等開催経費
2. 市との連携事業 (協議会と連携しつつ市 が主体となる事業)	1,750,000	1,094,592	△ 655,408	(1) 医師確保 205,993円 ○医療体験イベント事業費 187,693 ○医師確保対策事業費 18,300 (2) 連携推進事業 212,262円 ○ネットワークシステム運営経費 211,662 ○公的病院間等循環バス運賃助成事業費 600 (3) 地域医療に係る情報発信・啓発 676,337円 ○地域医療啓発事業費 583,057 ○地域医療情報発信事業費 93,280
3. 事務費	301,000	74,480	△ 226,520	○消耗品費 ○振込手数料 等
合計	2,061,000	1,179,492	△ 881,508	

令和2年度 舞鶴地域医療推進協議会 事業計画書（案）

【事業の基本的概要】

舞鶴地域医療推進協議会（以下、「協議会」という。）は、中丹地域医療再生計画に位置付けられている舞鶴地域医療連携機構の役割（機能）を継承するものであり、舞鶴市における地域医療の確保・充実を目的として、病院間等の連携体制の強化に寄与する取り組みを基本的事業として実施する。

令和2年度においては、前年度同様に病院間・病診間の「連携強化」、「救急医療体制の確保」及び地域医療の課題等に関する「啓発・情報発信」を重点に事業を推進するとともに、医師の定着に向け、医師や医学生の研修に対する支援事業を実施する。

1. 連携強化

公的病院間・病診間の連携や、医療・介護の連携による急性期から回復期・療養期・在宅医療・介護までのシームレスな連携体制（地域包括ケアシステム）の構築など、様々な地域医療の課題について、公的4病院長・医師会長会議や医療現場の担当者と情報共有や協議等を行い、実行性のある医療連携に努めていく。

(1) 公的4病院長・医師会長会議の開催

公的4病院や医師会における診療体制や地域医療の確保などの共通する課題や、これに関連する重要事項について協議を行う。

(2) 医療連携部会の開催

テーマ別に現場担当者による部会を開催し情報の共有化を図るとともに、医療連携や地域医療の充実について協議を行う。

部会名	構 成 員	内 容
●医療連携部会 ・医師連携 ・地域連携 ・実務連携	・医師会 ・公的4病院 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・地域医療連携担当部署 ・府（保健所） ・市医療担当部署	●病院間・病診間連携の強化 ●病院間医師応援体制の構築

2. 救急医療体制の確保

救急医療部会を開催し、持続可能な休日救急輪番体制のあり方（見直し）の検討などを行う。

部会名	構 成 員	内 容
救急医療部会	<ul style="list-style-type: none">・ 医師会・ 公的 4 病院・ 市消防本部（救急担当）・ 市医療担当部署	<ul style="list-style-type: none">● <u>持続可能な休日救急医療体制の確保に係る協議</u>● <u>輪番病院と休日急病診療所（内科：一次救急）との連携</u>● <u>公的 3 病院による平日夜間救急医療体制の連携推進</u>

3. 啓発・情報発信

お医者さんマップ、子どもの急病への対処法パンフレット、訪問歯科診療の案内チラシ等の配布や、協議会ホームページを通じて、地域の医療課題に関する啓発を行う。

(参考)

協議会と連携しつつ市が主体となって実施する事業

(1) 医師確保

- ・ 中・高生医療現場体験イベント
舞鶴医療センターの協力のもと開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、開催しないこととする。
- ・ 医師・医学生研修支援事業
 - ①地域の医療機関での研修において研修先医療機関と連携し、研修の充実が図られるよう各種支援を実施する
 - ②市内公的病院における、研修医や医学生への研修支援及び在宅医療を目指す 40代から 50 代の勤務医師の地域研修に対する支援を、京都府とも連携し実施する。

(2) 連携推進事業

- ・ 公的病院間循環バス利用運賃助成
- ・ (原子力) 災害時の患者情報のバックアップ、通信手段の確保

(3) 地域医療に係る啓発・情報発信

- ・ コンビニ受診の抑制や、かかりつけ医を持つことについての啓発活動
- ・ 広報紙やメール配信サービス等による情報発信

第4号議案

令和2年度 舞鶴地域医療推進協議会 収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	説明
1. 補助金	1,046,000	○舞鶴市補助金
合計	1,046,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	説明
1. 連携強化事業費	10,000	○公的4病院長・医師会長会議、部会等開催経費 10,000
2. 市との連携事業 (協議会と連携しつつ市が主体となる事業)	946,000	(1) 医師確保 193,000
		○医療体験イベント事業(※) 193,000
		(2) 連携推進事業 664,000
		○災害時通信手段確保事業 205,000
		○公的病院間循環バス運賃助成事業費 9,000
		○病院間画像共有アプリ導入検討経費 450,000
3. 事務費	90,000	○消耗品費
		○振込手数料 等
合計	1,046,000	

※ 舞鶴医療センターの協力のもと開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から開催しないこととする。

(附帯事項)

・予算の執行について

支出する経費につき、特別の事情等により予算の額を超えて支出を要するものについては、経費に他の科目の予算現額の範囲内で流用し、支出することができるものとする。